

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第56期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	A s - m e エステール株式会社
【英訳名】	As-me ESTELLE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 丸山 雅史
【本店の所在の場所】	東京都港区虎ノ門四丁目3番13号
【電話番号】	03 - 5777 - 5120(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 羽生 達夫
【最寄りの連絡場所】	東京都港区虎ノ門四丁目3番13号
【電話番号】	03 - 5777 - 5120(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 羽生 達夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第2四半期連結 累計期間	第56期 第2四半期連結 累計期間	第55期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	14,377	15,731	29,809
経常利益(百万円)	1,066	1,033	2,554
四半期(当期)純利益(百万円)	646	564	1,392
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	565	543	1,424
純資産額(百万円)	10,765	11,899	11,624
総資産額(百万円)	31,293	31,941	31,095
1株当たり四半期(当期)純利益金 額(円)	57.95	50.58	124.81
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	34.4	37.3	37.4
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	767	1,111	1,924
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	215	1,331	137
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	776	277	1,765
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	5,644	5,395	5,891

回次	第55期 第2四半期連結 会計期間	第56期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	40.25	37.41

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、平成25年5月8日付でアクセサリー販売を営む(株)ブルームニー、(株)ブルーミング及び(株)ブルーム・アウトレットの全株式を取得し、子会社化いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末における当社の関係会社は、子会社11社及び関連会社2社となっております。また、取得した当該子会社3社を宝飾品セグメントの連結子会社としております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた積極的な財政・金融政策が好感され、円高是正が進み、株価は上昇しました。また、これらを背景にして、企業業績が改善し、設備投資意欲が高まりを見せるなか、雇用・所得環境にも改善がみられ、景気は好循環に入りつつあるよう思われます。個人消費では、百貨店での高額品の売上に顕著な改善が見られ、また、大型スーパーなどでは衣料品や身の回り品などに改善の兆しが見られました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における店舗展開としては、当社では7店舗を出店、3店舗を閉鎖し、当四半期末の店舗数は371店舗（前年同期末376店舗）となり、メガネ小売のキンバレー(株)では2店舗を出店し、43店舗（前年同期末41店舗）となりました。平成25年5月8日に子会社化したアクセサリー販売を営む(株)ブルームニー、(株)ブルーミング及び(株)ブルーム・アウトレット（以下、ブルームグループといいます。）では、3社合計で当四半期末までに3店舗を閉鎖し、当四半期末の店舗数は24店舗であり、消化仕入契約に基づく百貨店等での販売は114箇所であります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、第1四半期連結会計期間末に連結したブルームグループの売上の寄与などにより157億31百万円（前年同期比9.4%増）となりました。営業利益は、ベトナム製造子会社での円安に伴う製品製造原価の増加などにより、8億13百万円（同16.5%減）となり、経常利益では、海外子会社で発生した為替差益などにより10億33百万円（同3.1%減）となりました。四半期純利益は、店舗の改装を積極的に進めたことによる固定資産除却損の増加などにより、5億64百万円（同12.7%減）となりました。

#### (2)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の58億91百万円より4億95百万円減少し、53億95百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは11億11百万円のプラス（前年同期は7億67百万円のプラス）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益9億61百万円、売上債権の減少3億28百万円、仕入債務の増加2億57百万円及び減価償却費2億53百万円の資金増加と、たな卸資産の増加5億84百万円、負ののれん償却額1億63百万円及び法人税等の支払額1億5百万円の資金減少によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは13億31百万円のマイナス（前年同期は2億15百万円のマイナス）となりました。これは主に敷金保証金の返還2億50百万円の収入と、ブルームグループの株式の取得9億70百万円、固定資産の取得4億70百万円、子会社への出資60百万円及び敷金保証金の差入59百万円の支出によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動におけるキャッシュ・フローは2億77百万円のマイナス（前年同期は7億76百万円のマイナス）となりました。これは主に長期借入金の増加4億11百万円（純額）の収入と、短期借入金の減少2億90百万円（純額）、配当金の支払2億67百万円及び社債の償還1億10百万円の支出によるものであります。

#### (3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4)研究開発活動

該当事項はありません。

## (5) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、(株)ブルームニー、(株)ブルーミング及び(株)ブルーム・アウトレットを子会社化したことにより、宝飾品セグメントの従業員数が377人、臨時従業員数が168人それぞれ増加しております。なお、従業員数は就業人員数であります。

## (6) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、(株)ブルームニー、(株)ブルーミング及び(株)ブルーム・アウトレットの子会社化に伴い増加した主要な設備は以下のとおりであります。

会社名	セグメントの名称	事業所名	設備の内容	帳簿価額					従業員数 (人)
				建物及び 構築物 (百万円)	工具・器 具及び備 品 (百万円)	土地 (百万円) (面積㎡)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	
(株)ブルームニー	宝飾品	営業設備 販売店舗 等	アクセサリー販売 店舗・販売用店頭 什器等	1	96	-	6	103	456
(株)ブルームミン グ	宝飾品	営業設備 販売店舗 等	アクセサリー販売 店舗・販売用店頭 什器等	0	22	-	0	23	69
(株)ブルーム・ア ウトレット	宝飾品	営業設備 販売店舗等	アクセサリー販売 店舗・販売用店頭 什器等	-	2	-	-	2	20

(注) 1. 金額には消費税等は含まれておりません。

2. 帳簿価額「その他」は、ソフトウェアであります。

3. 上記3社の販売店舗の店舗ブランド別、地域別内訳は以下のとおりであります。

(店舗ブランド別)

(株)ブルームニー

ブルーム 6店舗

(株)ブルーミング

アクセサリーズ・ブロッサム 8店舗

アチューン 2店舗

ブルーム 2店舗

マルシェ・ドウ・エクラ 1店舗

(株)ブルーム・アウトレット

ブルーム・アウトレット 5店舗

(地域別)

(株)ブルームニー

東北 2店舗 (岩手県、山形県)

関東 3店舗 (群馬県、埼玉県、神奈川県)

中国 1店舗 (広島県)

(株)ブルーミング

関東 8店舗 (茨城県、千葉県、埼玉県、神奈川県)

中部・東海 2店舗 (静岡県、愛知県)

近畿 1店舗 (大阪府)

中国 1店舗 (岡山県)

九州 1店舗 (長崎県)

(株)ブルーム・アウトレット

北海道 1店舗

東北 1店舗 (宮城県)

関東 1店舗 (東京都)

中部 1店舗 (岐阜県)

九州 1店舗 (佐賀県)

なお、店舗数はテナント出店等による店舗数であり、その外、消化仕入契約に基づく百貨店等での販売は、それぞれ(株)ブルームニー109箇所、(株)ブルーミング4箇所及び(株)ブルーム・アウトレット1箇所であります。

4. 従業員数は、臨時従業員を含んでおります。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,000,000
計	15,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	11,459,223	11,459,223	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,459,223	11,459,223	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年7月1 日～ 平成25年9月30日	-	11,459,223	-	1,571	-	1,493

## ( 6 ) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
丸山 朝	東京都杉並区	2,661,900	23.23
株式会社桑山	東京都台東区上野二丁目23番21号	463,750	4.05
A s - m e エステール取引先 持株会	東京都港区虎ノ門四丁目3番13号	361,550	3.16
小島 康誉	東京都港区	326,700	2.85
丸山 雅史	東京都杉並区	316,000	2.76
丸山 範子	東京都杉並区	311,800	2.72
エイチエスピーシー プライ ベートバンク(スイス)エ ス エー シンガポール ト ラスト アカUNT クライ アンツ (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	東京都中央区日本橋三丁目11番1号	273,200	2.38
株式会社雅コーポレーション	東京都杉並区善福寺二丁目36番3号	250,000	2.18
A s - m e エステール従業員 持株会	東京都港区虎ノ門四丁目3番13号	246,978	2.16
小島 聡子	東京都港区	238,750	2.08
計	-	5,450,628	47.57

(注) 上記のほか、自己株式が303,083株あります。

## ( 7 ) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 303,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,127,200	111,272	-
単元未満株式(注)	普通株式 29,023	-	-
発行済株式総数	11,459,223	-	-
総株主の議決権	-	111,272	-

(注) 「単元未満株式」の普通株式には、当社所有の株式83株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
A s - m e エステール株式会社	東京都港区虎ノ門四丁目3番13号	303,000	-	303,000	2.64
計	-	303,000	-	303,000	2.64

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,191	5,695
受取手形及び売掛金	2,621	2,500
商品及び製品	8,980	10,251
仕掛品	1,746	1,782
原材料及び貯蔵品	1,820	1,771
その他	401	432
貸倒引当金	1	0
流動資産合計	21,762	22,433
固定資産		
有形固定資産	1,634	1,862
無形固定資産	336	414
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,559	4,489
その他	2,803	2,742
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	7,361	7,230
固定資産合計	9,332	9,508
資産合計	31,095	31,941
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,169	4,431
短期借入金	1,100	810
1年内返済予定の長期借入金	3,371	3,612
1年内償還予定の社債	120	10
未払法人税等	123	436
賞与引当金	408	407
その他	1,556	1,612
流動負債合計	10,849	11,321
固定負債		
長期借入金	6,224	6,394
退職給付引当金	1,498	1,587
役員退職慰労引当金	474	479
関係会社事業損失引当金	2	2
資産除去債務	50	60
負ののれん	327	163
その他	44	31
固定負債合計	8,622	8,720
負債合計	19,471	20,042

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	6,589	6,885
自己株式	146	146
株主資本合計	11,398	11,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	353	296
為替換算調整勘定	128	91
その他の包括利益累計額合計	225	204
純資産合計	11,624	11,899
負債純資産合計	31,095	31,941

## ( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	14,377	15,731
売上原価	5,513	6,076
売上総利益	8,863	9,655
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 7,889	<sup>1</sup> 8,841
営業利益	974	813
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	34	32
負ののれん償却額	163	163
為替差益	0	104
その他	45	44
営業外収益合計	244	346
営業外費用		
支払利息	131	108
その他	21	17
営業外費用合計	152	125
経常利益	1,066	1,033
特別利益		
投資有価証券売却益	37	-
固定資産売却益	-	0
受取補償金	-	8
特別利益合計	37	8
特別損失		
固定資産除売却損	24	45
店舗閉鎖損失	4	2
減損損失	28	32
関係会社整理損	0	-
特別損失合計	57	80
税金等調整前四半期純利益	1,046	961
法人税等	399	397
少数株主損益調整前四半期純利益	646	564
四半期純利益	646	564

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	646	564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67	57
為替換算調整勘定	13	36
その他の包括利益合計	80	20
四半期包括利益	565	543
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565	543
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## ( 3 ) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

( 単位 : 百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,046	961
減価償却費	229	253
減損損失	28	32
負ののれん償却額	163	163
のれん償却額	-	7
貸倒引当金の増減額 ( は減少 )	0	0
退職給付引当金の増減額 ( は減少 )	40	88
役員退職慰労引当金の増減額 ( は減少 )	40	5
賞与引当金の増減額 ( は減少 )	20	0
受取利息及び受取配当金	35	32
支払利息	131	108
投資有価証券売却損益 ( は益 )	37	-
関係会社清算損益 ( は益 )	0	-
固定資産除売却損益 ( は益 )	20	32
売上債権の増減額 ( は増加 )	182	328
たな卸資産の増減額 ( は増加 )	399	584
仕入債務の増減額 ( は減少 )	272	257
未払金の増減額 ( は減少 )	43	102
その他	216	99
小計	1,115	1,292
利息及び配当金の受取額	35	32
利息の支払額	128	108
法人税等の支払額	254	105
営業活動によるキャッシュ・フロー	767	1,111
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	1	1
投資有価証券の売却による収入	71	-
子会社出資金の取得による支出	80	60
関係会社の整理による収入	6	-
固定資産の取得による支出	323	470
固定資産の売却による収入	1	1
敷金及び保証金の差入による支出	40	59
敷金及び保証金の回収による収入	193	250
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	970
その他	42	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	215	1,331

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	69	290
長期借入れによる収入	2,100	2,300
長期借入金の返済による支出	2,248	1,888
社債の償還による支出	300	110
割賦債務の返済による支出	22	10
リース債務の返済による支出	14	10
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	223	267
財務活動によるキャッシュ・フロー	776	277
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	223	495
現金及び現金同等物の期首残高	5,867	5,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 5,644	<sup>1</sup> 5,395

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに子会社化した(株)ブルームニー、(株)ブルーミング及び(株)ブルーム・アウトレットを連結の範囲に含めております。

なお、これら3社の決算日が2月28日であるため、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に使用した財務諸表は平成25年8月31日現在のものであり、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結損益計算書関係)

1. 販売費及び一般管理費の主なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
給与手当	3,131百万円	3,483百万円
賞与引当金繰入額	395	389
役員退職慰労引当金繰入額	44	10
支払家賃	1,713	2,028

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	5,944百万円	5,695百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	300	300
現金及び現金同等物	5,644	5,395

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	223	20円00銭	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	267	24円00銭	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金



## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」ですが、「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、第1四半期連結累計期間よりセグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」ですが、「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	57円95銭	50円58銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	646	564
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	646	564
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,156	11,156

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

**第二部【提出会社の保証会社等の情報】**

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

A s - m e エステール株式会社

取締役会 御中

爽監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 霧生 卓 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 登 三樹夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているA s - m e エステール株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、A s - m e エステール株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。